

## SR-S748TC1 V14.09 変更内容一覧

### □修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V13.00～V14.08 commit try コマンド実行時	commit try timeコマンドを実行し、指定時間経過による動的反映の切り戻しが行われ、運用している状態でshow tech-supportコマンドを実行すると、装置が再起動する。
2	V13.00～V14.08 ssh/telnet利用時	loopback ip addressコマンドで設定したloopbackインタフェースにssh/telnetで本装置へ接続後、変更内容に依存せず動的設定反映操作(commit/commit try timeコマンド)を行うと当該アドレスで接続中のセッションが切断されてしまう。※再接続により操作を継続することは可能。